

議題(1) これまでの経過説明

平成18年8月に、路線バスの運行がない池田・小波津地域の住民団体から、西原町、沖縄県バス協会、バス事業者、沖縄総合事務局に対して、地域の交通実態調査と路線バスの運行要請がありました。(調査報告書44ページ参照)

要請を受けて、町は、平成18年10月に県バス協会に対し路線バス運行を要請したところですが、採算性等から運行実現の可能性は現在のところ極めて低いと考えられ、既存バス事業者の具体的な動きはありません。

平成19年度には、同地域の交通の確保方策を検討することを目的に、「西原町公共交通空白地域における生活交通の確保方策検討調査」が沖縄総合事務局の事業として行われ、報告書という形で整理がなされています。

調査は池田・小波津・兼久地域を対象に、地域の現状及びアンケート調査等が行われ、その結果をもとに、公共交通に係る課題や新たな公共交通導入の考え方等が整理されています。

また、幅広い視点からの意見を反映させるため、「検討委員会」も開催され、「次年度の運行実証実験に向けて動いていってはどうか」と提案がなされています。

報告書では、新たな公共交通導入の考え方として、バス事業者による小型バスの運行か、タクシー事業者による乗合タクシーの運行を基本としてはどうかと提案がなされています。

西原町としましても、この提案をひとつの考え方として捉え、地域公共交通会議の議論を踏まえながら進めていきたいと考えています。